

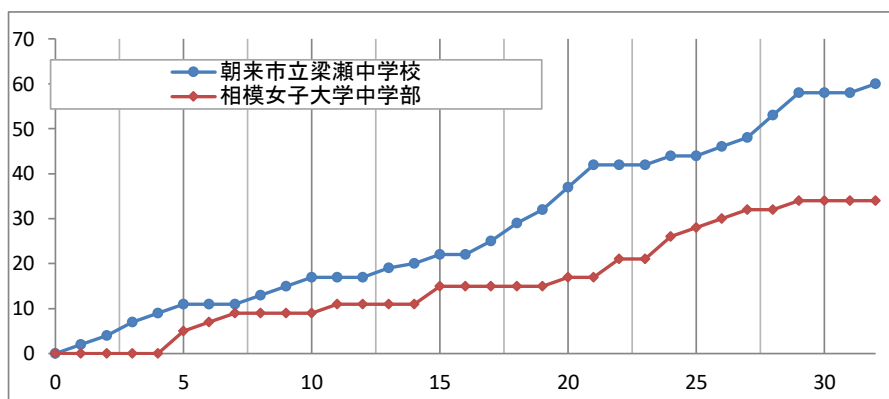
平成30年度全国中学校体育大会 第48回全国中学校バスケットボール大会



決勝トーナメント女子 朝来市立梁瀬中学校 **60** (兵庫県) ○ **34** 相模女子大学中学部 (神奈川県) ●

主審 武藤 陽子
第1副審 阿部 暢史
第2副審 佐竹 俊春

No. 24HC6 日時: 2018年8月24日(金) 16:10 会場: ソルトアリーナ防府



朝来市立梁瀬中学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 向山 琴七 (C)	14	2	2	4	5
5	* 寺岡 美祈	6	1	1	1	1
6	* 木下 万沙羅	19	3	5	0	2
7	* 仁木 日向	8	0	4	0	4
8	* 池田 優愛	13	0	6	1	2
9	新 陽菜乃	0	0	0	0	0
10	寺尾 凜	-	-	-	-	-
11	門 紗佳	-	-	-	-	-
12	谷口 こころ	-	-	-	-	-
13	中野 乃愛	-	-	-	-	-
14	船曳 音羽	-	-	-	-	-
15	牧野 千玲	-	-	-	-	-
16	小入羽 楓子	-	-	-	-	-
17	吉井 あこ	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-
コーチ 松本 隆						
合計		60	6	18	6	14

相模女子大学中学部

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 宮代 幸乃 (C)	6	0	1	4	2
5	* 美口 まつり	12	0	6	0	1
6	片岡 夏希	-	-	-	-	-
7	池野 夏帆	9	1	2	2	1
8	* 中山 未悠	4	0	1	2	1
9	小倉 桃花	-	-	-	-	-
10	* 青木 らするな月	0	0	0	0	0
11	山田 菜々美	-	-	-	-	-
12	山川 香菜	3	1	0	0	2
13	吉信 花恋	-	-	-	-	-
14	オクラン 咲樹アマ	-	-	-	-	-
15	堀川 ジャスミン	-	-	-	-	-
16	嶋村 結来	-	-	-	-	-
17	小池 あゆみ	-	-	-	-	-
18	* 前田 理咲子	0	0	0	0	2
コーチ 田島 稔						
合計		34	2	10	8	9

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

決勝トーナメント、ベスト4を懸けた戦い。兵庫県梁瀬中学校対神奈川県相模女子。梁瀬#7のドライブから#6のミドルシュートが決まり梁瀬が先制。その後も#4の1対1、3P#7のドライブから連続して得点し、リズムにのる。対する相模は相手の激しいディフェンスに苦しみ、シュートがなかなか入らず、4分間ノーゴール。#7の3P、#5のジャンプシュートが決まり、リズムが出てきた相模。#7のゴール下での連続得点で盛り返し13-9で梁瀬リードして終了。2Qの立ち上がり梁瀬#6が連続してシュートを決めると、相模#5が入れ返す。互いにディフェンスが堅く、シュートに苦しみながらも得点を重ねる。梁瀬が点差を広げ、22-15で2Q終了。3Q、相模はインサイドを起点に攻撃を組み立てるが、ミスなども重なりなかなか得点できない。梁瀬は立ち上がりから#4の3P、#7の裏を衝くプレイやドライブで連続7得点をあげる。相模はタイムアウトをとるが、その後も梁瀬#6が3P、#8がゴール下のシュートを決め、12得点連続してあげ、25点差開いた。ここから、相模は#5の得点からオールコートマンツーマンのプレッシャーを強め、連続して9得点する。梁瀬#4がフリースローを決め、3Qは44-26で終了。4Q、相模#5がゴール下で連続得点をあげ、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ続けるが、梁瀬は#7から#8の合わせで得点するなど流れを渡さず、落ち着いて得点を重ねた梁瀬が60-34で試合を制した。梁瀬のダブルチームをねらうディフェンスの運動量と球際の強さ、シュート力が際立つ試合であった。相模は終始シュートが入らず苦しんだが、その戦う姿勢を賞賛したい。

記載者 渡邊 智仁 (所属) 山口県中体連バスケットボール専門部